

まごめ園

令和 5 年度（2023 年度）事業報告

1. 運営方針

- (1) 地域社会に開かれた施設づくり
- (2) 自律した豊かな地域生活の基盤づくり
- (3) 社会参加活動の拡充

2. 職員等配置

正規職員 23 名(短時間正規職員 1 名を含む)

正規職員以外 6 名(非常勤 6 名)

嘱託医名 2 名

合計 31 名

3. 利用者受入等・平均工賃 *日数・%等は前年同期比

*就労継続支援 B 型⇒B 型 生活介護⇒生介

	定員	開所日数	延べ利用者数	平均利用者数	稼働率	利用率
B 型	37 名	238 日	7,869 人	33.1 名	89.4% -0.7%	85.5% -0.6%
生介	25 名	238 日	4,410 人	18.6 名	74.2% -2.7%	77.5% -2.6%
B 型	平均工賃月額		23,993 円	前年度	22,591 円	+1402 円
生介	作業売上金の分配 (年度末に分配)		7,800 円	前年度	4,800 円	+3,000 円

※ 平均利用者数＝延べ利用者数÷開所日数（小数点第 2 位以下切り上げ）

※ 稼働率＝延べ利用者数÷（定員×開所日数）

※ B 型利用率＝延べ利用者数÷{(B 型在籍数 39 名×開所日数 200 日) + (37 名×開所日数 38 日)}

生介利用率＝延べ利用者数÷{(生介在籍数 24 名×開所日数 218 日) + (23 名×開所日数 20 日)}

* 新規利用者 4 名（4 月 1 日付け：B 型 2 名、生介 1 名（新卒）、8 月 1 日付け：生介 1 名（廃校）

* 退所者 3 名（6 月 6 日付け 1 名：生介：1 名（施設入所）1 月 31 日付け：B 型：2 名（施設異動）

4. 重点目標に対する取り組み状況 人数：職員のみ参加した際、職員と記載

第 5 次経営改革プラン項目 I 面的支援体制整備の推進				回数・日付	人数
Ⅲ 分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進					
1	一人一人が力を発揮できる環境の提供	内容	(1) 多機能を活かした施設づくり ・ 受託作業の両事業合同実施 町会作業 ネジ加工 ・ 利用者自治会の代表委員による定例会 ・ 行事企画	12 回 通年 月 2 回	延べ 140 名 延べ 600 名 B 型 6 名 生介 2 名

			七夕、納涼会等の季節行事を合同で実施。	7/6, 8/25	全利用者
			(2) 得意を活かす活動の提供		
			・ アセスメントを確認し、活動および作業選択場面の提供を行った。	適宜	全利用者
			・ 大田市場内での作業受託	9月～週3回	延べ252名
			(3) 生産販売活動の促進		
			・ 新規商品販売		
			児童館向けカップケーキの販売開始	8月～	
			・ アート・プロジェクト		
			公益財団法人大田区文化振興協会主催福祉施設とアーティストをつなぐプラサート(+ART)プロジェクトを活用して、ワークショップの実施。著作権等の申請を行い、今後箱等のデザインを作成予定	9月	8名
			・ イベント販売		
			園庭販売(第2, 4金曜日): 74,860円	22回	延べ58名
			おおむすび連絡会関連イベント	19回	延べ72名
			:153,680円		
			特別ふれんど: 139,300円	29回	延べ29名
			地域イベント: 174,390円	16回	延べ16名
第5次経営改革プラン項目 II 地域に根ざした公益的取り組みの推進				回数・日付	人数
2	地域貢献と社会参加の取り組み強化	内容	(1) まごめ幸陽祭の第30回記念回として開催	9/23	延べ700名
			・ 実行委員会を開催(地域自治会関係団体)	8/18	
			・ 実行委員会報告会開催	11/29	
			(2) 地域イベント等への参加・協力、地域交流を通じた社会参加の促進		
			・ 馬込文士村大桜まつり	4/2	利用者2名、職員2名
			・ 洗足池 春宵の響き	5/17	利用者1名、職員2名
			・ 登志子地藏祭	5/28	利用者2名、職員2名
			・ 地域合同防災訓練	6/25	全利用者
			・ まごめ盆踊り大会	7/22, 23	職員4名
			・ 貝塚こどもまつり	8/27	職員2名
			・ 地域防災拠点会議	4回	職員2名
			・ 地域力推進馬込地区委員会	9回	職員1名

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域への設備・物品貸出し ・ 地域包括支援センターと交流企画 	12回 5回	延べ30名
第5次経営改革プラン項目			<p>Ⅲ 分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進</p> <p>Ⅳ 福祉人材の確保・育成・定着</p>	回数・日付	人数
3	多様なニーズに応える支援力の強化	内容	<p>(1) 関係機関と連携による複合的な課題に対応する支援</p> <p>① サービス担当者会議参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動障害を伴う利用者の共同生活援助の様子について ・ サービス等利用計画に関する会議への出席 <p>② 事例検討を通じた人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業で、日々の振り返りやケース会議で実施。職員間で支援方法の見直し、検討をして支援を行っている。 ・ 事例検討「深谷塾（講師：深谷美枝明治学院大学教授）」に派遣 <p>7月：事例提供[安心して園生活を送るための支援]</p> <p>8月：事例検討会（他事業所を含む）</p> <p>(2) 計画的研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 強度行動障害を伴う利用者等の支援強化 <p>*詳細は6. OJT・職場内研修を参照</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に生活介護事業で運動機会の増加にニーズがある為、講師によるダンスプログラム実施 	5回 全利用者 毎日 3回 8/2 毎月2回	延べ5名 全利用者 延べ5名 25名 延べ144人

5、年間行事実績

4月	入所式(4日)	10月	
5月		11月	
6月	地域合同防災訓練(25日)	12月	宿泊訓練(7、8日) B型・生介：山梨・静岡方面
7月		1月	二十歳を祝う会(12日)
8月	納涼会(25日)	2月	外出訓練(生活介護)
9月	利用者健康診断(1日) 第30回まごめ幸陽祭(23日)	3月	

6, 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修

	実施項目	具体的取組の内容	回数・日付	人数
1	OJT・職場内研修	<p>(1) サービス提供ガイドライン、各種業務標準を活用して法人キャリアパスに応じてOJT、業務モニタリングの実施 ⇒新規採用職員へ向け、資料配布。</p> <p>(2) 職場内研修の計画実施</p> <p>① サービス管理、障害特性・支援技術等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上期モニタリング会議（全利用者） ・ 下期モニタリング会議（全利用者） ・ 強度行動障害支援者養成研修に関する職場内伝達研修 <p>② 虐待防止・権利擁護研修に関する職場内伝達研修</p> <p>③ 危機管理・防災・応急救護等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難経路・緊急通報機器 ・ 不審者、災害時対応 <p>④ 感染症対策・保健衛生等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策としての手洗い ・ 正しい消毒液（次亜塩素酸）の使用方法 <p>(2) 自己研鑽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ eラーニング活用 	<p>適宜</p> <p>8～9月</p> <p>12～1月</p> <p>10月</p> <p>1月</p> <p>4,9月</p> <p>9月</p> <p>4月</p> <p>10月</p> <p>適宜</p>	<p>全職員</p> <p>全職員</p> <p>全職員</p> <p>29名</p> <p>全職員</p> <p>全職員</p> <p>8名</p> <p>29名</p>
2	外部研修	<p>① 障がい特性 3講座</p> <p>② リスクマネジメント 0講座</p> <p>③ 利用者支援・技法 10講座</p> <p>④ 福祉サービス・制度 4講座</p> <p>⑤ 経営・運営 3講座</p> <p>⑥ その他 6講座</p>	<p>3回</p> <p>0回</p> <p>10回</p> <p>4回</p> <p>3回</p> <p>6回</p>	<p>4名</p> <p>0名</p> <p>10名</p> <p>4名</p> <p>3名</p> <p>8名</p>

7, その他特記事項

・令和5年度に就労をした利用者のアフターフォローをまごめ園で実施（週3回・延べ156回）